受注者の皆様へ

建設現場に設置する「快適トイレ」の導入についてのお知らせ

都市整備局では、建設現場を男女ともに働きやすい環境とする取り組みを進めております。その一環として、建設現場の仮設トイレについて、全ての工事を対象に、快適トイレを平成 29 年 11 月から導入しています。

快適トイレを導入することによって、男女ともに入職しやすい環境がつくられます。また、レンタルが中心の仮設トイレが快適トイレに変わることにより、災害時に避難所等に持ち込まれる仮設トイレも変わるといった副次的効果も期待されています。

この趣旨を踏まえ、建設現場に快適トイレを設置する意向のある受注者の方は、快適トイレの設置について監督員へ協議をお願いします。

なお、令和 8 年 10 月 1 日以降に協議して設置する快適トイレの費用（設計変更の見込金額）は、下記により算出します。

（1）快適トイレとは

【別紙 1】に示す標準仕様のうち、①～⑪の機能・付属品の条件を満たすことを原則とします。なお、⑫～⑰の仕様・付属品の条件は、満たしていれば快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではありません。

（2）設置に要する費用について

- 設置に要する費用については、当初設計では計上しません。
- 受注者は、快適トイレの設置に当たっては、上記（1）の内容を満たすことを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上、規格・基数等の詳細について決定することとし、設計変更時において、見積を提出するものとします。
- 【快適トイレに求める機能】①～⑥及び【付属品として備えるもの】⑦～⑪の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とします。
- 設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事までです。
- 運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとします。

（3）快適トイレの導入に当たっての配慮事項について

建設現場で働く女性の活躍をサポートする取り組みとして、快適トイレを導入する際は、【別紙 2】に配慮してください。

【参考URL】（国土交通省ホームページ）

○現場の環境整備
「快適トイレ」の事例集（令和 2 年 3 月）
https://www.mlit.go.jp/tec/kankyouseibi.html

○「快適トイレ」の導入について
～建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい向上にむけた取組（令和 2 年 10 月）
https://www.mlit.go.jp/tec/i-con-yarigai.htm

快適トイレの標準仕様イメージ

国土交通省

快適トイレの標準仕様

1. トイレに求める機能

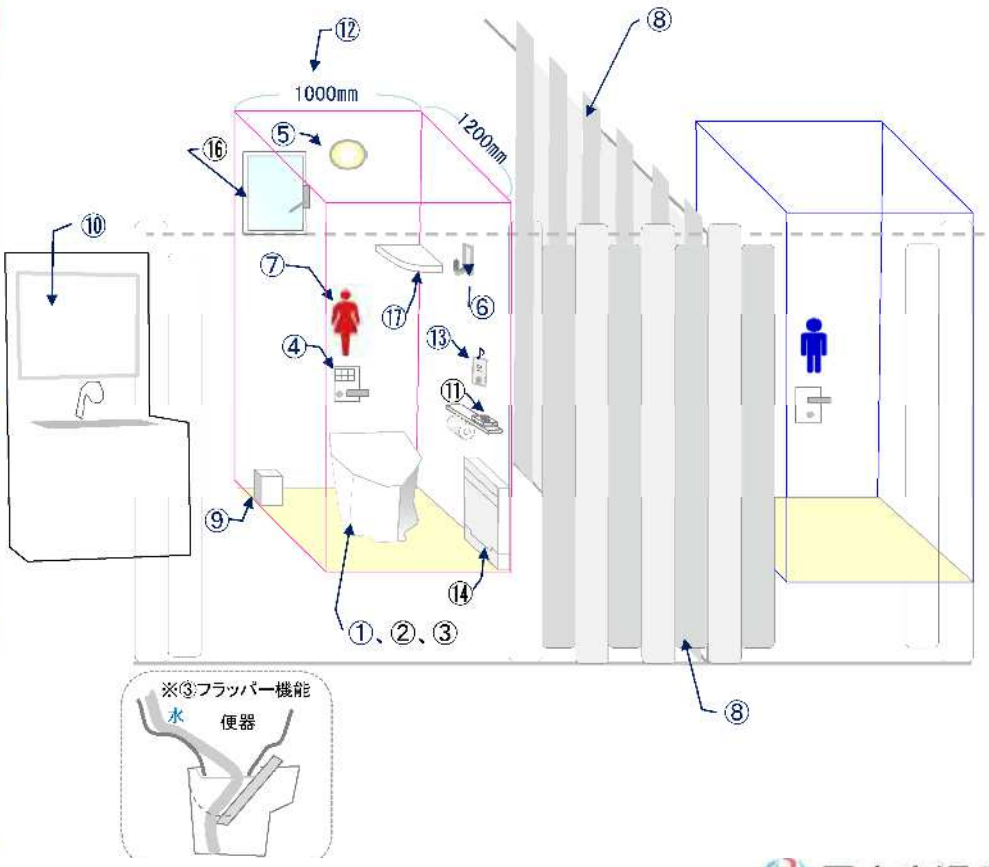
①洋式便座
②水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置を含む）
③臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
（必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること）
④容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
⑤照明設備（電源がなくても良いもの）
⑥衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）

2. 付属品として備えるもの

⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
⑧入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
⑨サニタリーボックス（女性専用トイレに限る）
⑩鏡付きの洗面台
⑪便座除菌シート等の衛生用品

3. 推奨する仕様、付属品

⑫室内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）
⑬擬音装置
⑭着替え台（フィッティングボード等）
⑮フラッパー機能の多重化
⑯窓など室内温度の調整が可能な設備
⑰小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）



トイレのタイプ

国土交通省

○ 快適トイレは以下の３タイプに分類され、周辺環境や現場条件等により適用されます。
①ハウス型　：室内空間が比較的広く、洗面台等が室内に完備されたタイプ。
②車載型　　：軽トラック等に積載した状態で使用可能で、現道工事等に適したタイプ。
③ボックス型：簡易トイレとして一般的なタイプで、敷地に余裕がない現場等に適したタイプ。

①ハウス型の事例





②車載型の事例







③ボックス型の事例





【別紙２】

快適トイレの導入に当たっての配慮事項について

建設現場で働く女性の活躍をサポートする取り組みとして、快適トイレを導入する際は、以下の（１）～（８）に配慮することとする。

（１）原則
女性が現場にいる場合は、女性トイレを設置する事を標準とする

（２）全般
女性トイレの設置に当たっては、あらかじめ、建設現場で働く女性の意見を聞く

（３）設置位置
女性トイレと男性トイレや喫煙所は隣接して設置せず、一定の距離を確保する

（４）動線の配慮
男性トイレと女性トイレは入口を分ける等の動線の配慮をする

（５）ドアの向き
女性トイレのドアは、開けたら真正面ということのないよう、便座と直角の向きのドアを採用するなどの工夫をする

（６）照明
窓の大きさに応じて、中にいる人のシルエットが窓に映り込むことのないよう、照明をスポットライト式にするなどの工夫をする

（７）室温
トイレ内の室温を快適に保つため、冷暖房、扇風機等の設備を備え付けるなどの配慮をする

（８）性別の徹底
混雑等を理由に、男性が女性トイレを使用することのないよう徹底する